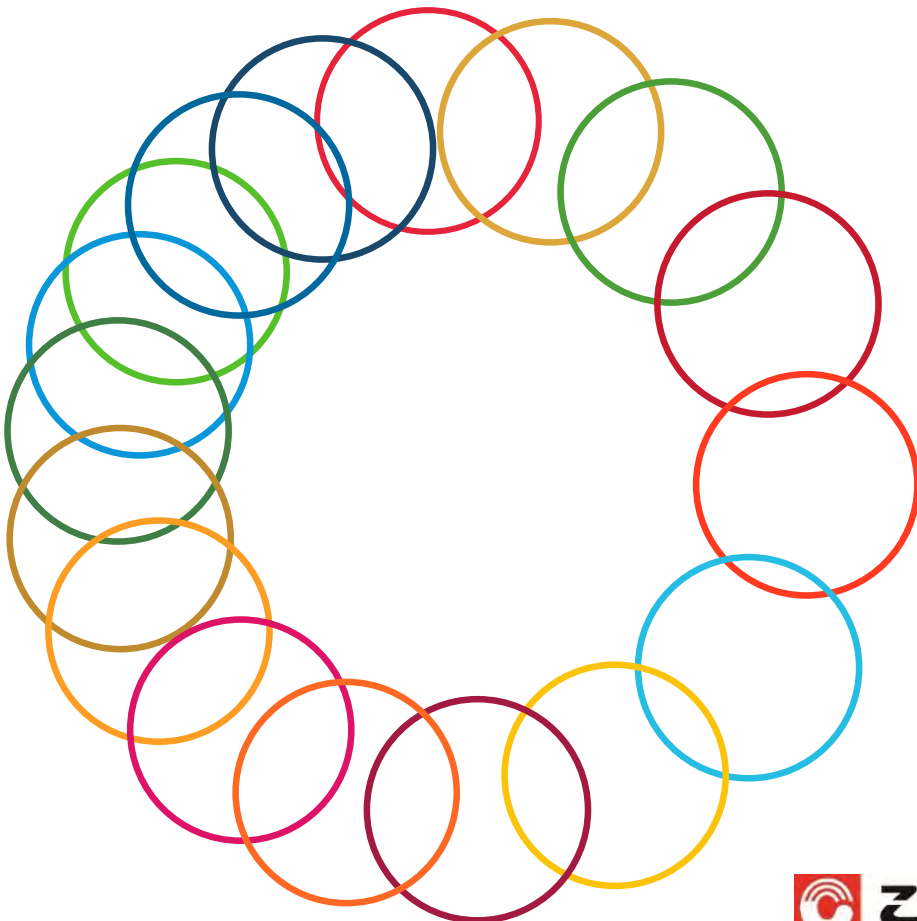


CSRレポート 2020



目次

- 1 ごあいさつ
- 2 こうち生協とは
- 3 **誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します**
 - 3 行政・地域諸団体との連携
 - 4 災害復興支援
 - 5 自助を養う活動
 - 6 地域社会の課題解決を目指して
 - 7 子育て支援
 - 7 暮らしを見直す活動
 - 8 宅配などの事業
 - 9 店舗事業
 - 10 共済事業
 - 11 サービス事業
- 12 **持続可能な社会づくりをめざします**
 - 12 産直・商品を通じた生産者とのつながり
 - 13 コーブ商品事業
 - 14 廃棄物削減への取り組み
 - 15 品質保証
- 16 **健康づくりの取り組みを広げ、助け合い活動を進めます**
 - 16 福祉・助け合い
 - 17 食育の取り組み
- 18 **平和な社会をめざす取り組みを進めます**
 - 18 平和活動
- 19 **地球温暖化防止対策を推進します**
 - 19 環境活動
- 20 **多様な人々が共生できる社会づくりを推進します**
 - 20 多様な人材が働く元気な組織に
- 21 組織の概況について

編集方針

この報告書は、こうち生協が取り組んでいる社会的責任・社会的役割に関する活動を報告するものです。この中では、国連が 2015 年に採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」と関わりのある事業や活動の事例にアイコンを掲載しています。



対象期間

2019年度の事業・活動を報告しています。

ごあいさつ

私たちこうち生活協同組合は、2020年に35周年を迎えました。よりよいくらしと健康、子どもたちの明るい未来を県下の隅々に広げることを誓い合ってスタートしたこうち生協をここまで育てていただいた組合員さん、地域の皆様に心から感謝します。ありがとうございます。

さて、高知県下で10万人の組合員さんが加入し世帯加入率では3割を超える組織となった今、こうち生協では、ここ高知の地で地域社会の一員としての社会的責任をより積極的に果たしていきたいと思っています。2019年度は、これまでの様々な社会的な責任を果たす為の事業や活動に加え、「高知県生協連と共にコープぼうさいフェアの開催」「高齢者世帯・免許返納者世帯へ個人宅配手数料の減額」「店舗のお買い物バス運行」などにも新たに取り組むことができました。今後もこうした、よりよいくらしをつくっていく事業や活動を、組合員さんや地域の皆様、地域の協同組合やお取引先、行政や他団体とともに、生協『も』一緒になって進めていき、「健康と子どもたちの未来のために」生活協同組合としての役割を果たしていきたいと思ひます。

世界的に広がり大規模化している地球温暖化が主要因とされる自然災害や、全世界で流行し普段のくらしを一変させた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の爆発的な拡大などからは、「誰か」や「どこかの国だけ」では持続可能な世界・社会を実現することはできないということを警告しているように思ひます。そういった意味では、2015年に国連総会で採択された「SDGs」（持続可能な開発目標）を、自分たちの行動と重ね合わせて、一人一人の生活者としてできることを具体的にしていくことが求められていると思ひます。

今回の「こうち生協 CSR レポート」は、こうち生協の事業や活動、社会貢献活動への参加を、「SDGs」の目標との関係で編集をさせていただきました。ぜひ一読いただき、今後のこうち生協の事業・活動に対してのご意見をいただければと思ひます。



代表理事 理事長 佐竹 一夫

持続可能な開発目標 SDGs

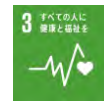
2015年に国連で採択された「誰も取り残さない」というSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。こうち生協は持続可能な社会の実現をめざし事業や活動を進めてまいります。



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



飢餓をゼロに



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



すべての人に包摂的かつ公正で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



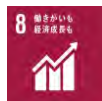
ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメント(力をあたえること)を図る



すべての人々の水と衛生へのアクセスを確保する



手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する



レジリエント(強靱)なインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



国内及び国家間の不平等を是正する



都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする



持続可能な生産消費形態を確保する



気候変動及びその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



公正、平和かつ包摂的な社会を推進する



持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化させる

こうち生協とは



くらし、よりよく、力あわせて

生協(せいきょう)とは「生活協同組合」のことで、私たち消費者がくらしのなかで生まれる共通の願いを実現するために手を取り合って自ら運営していく組織です。安全安心な食とくらしを求め、組合員一人ひとりが「出資」「利用」「運営」に参加することで支えられています。

生協は営利を目的とせず、人と人の結びつきにより、よりよいくらしを実現することをめざしています。

こうち生協がめざしているもの

基本理念

健康と子どもたちの未来のために

- 人間らしい豊かなくらしの創造、よりよい環境と平和をめざします
- 地域住民のくらしと健康を守り、住みよい地域社会づくりをめざします
- 協同の輪を広げ、県民の多数が参加する組織をめざします
- 地場生産者と手を取り合い、安心・安全なコープ商品の開発をすすめます
- 地域のさまざまな団体、商工業者のみなさんとともに「協力・協同」を強め、明るい町づくりの取り組みをすすめます
- 継続発展できる経営基盤の確立と人材育成をめざします

1985年11月18日、こうち生協は2,013人の組合員によって立ち上がりました。すこやかな未来とよりよいくらしのためにお互いに支え合い、理想を実現しようと集まった組合員は高知県全域で10万人を超え、その輪はますます広がっています。

誰もが安心して くらし続けられる 地域社会づくりに参加します

こうち生協は、誰一人残さず安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。諸団体との連携を大切にしながら、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域のお役立ちを進めます。



□ 行政・地域諸団体との連携



■ 地域を見守る取り組み

宅配事業の基盤を活用した「地域の見守り活動」は、配達の際に担当者が異変に気付いた場合、事前に取り決めた連絡先に連絡を行うものです。高知県全域において日頃から商品の配送を行い、地域住民と接する機会の多いこうち生協に見守り活動の協力依頼があり、2007年に協定を締結して地域の見守り活動に取り組んでいます。

○「高知県」「高知県民生委員児童委員協議会」「こうち生活協同組合」の3者間において地域見守り協定を締結（2007年10月19日）

○「高知市民生委員児童委員協議会連合会」「こうち生活協同組合」において高知市における地域の見守り活動に関する協定を締結（2008年10月14日）



■ 災害時に早期支援を

こうち生協は大規模災害等の発生時に自治体や他県の生協と相互に協力して住民生活の早期安定を図るため、食料・飲料水・生活必需品等の供給や事業の早期再開支援を行う協定を結んでいます。

□協定を結んでいる自治体

- ・高知市・南国市・土佐市・安芸市・いの町・佐川町・越知町・四万十町
- ・本山町・日高村・芸西村・北川村

□協定を結んでいる生協

- ・コープかがわ・コープえひめ・とくしま生協・コープやまぐち・生協しまね

■ 地域の団体との連携

高知市の生活支援体制の協議会に参加し、社会福祉協議会や他団体とのつながりから、こうち生協の「コープたんぽぽ」事務局を中心に連携がはじまりました。



□ 災害復興支援

2019 年は全国各地で自然災害による被害が発生しました。こうち生協では募金活動などの災害復興支援に取り組んでいます。また東日本大震災などの被災地への支援を継続して行っています。



東日本大震災被災者支援募金 1,181,634 円
台風 19 号被災者支援募金 2,876,700 円
台風 15 号被災者支援募金 2,403,208 円

■ 被災地域への支援活動

2019 年 11 月、台風 19 号で被害を受けた宮城県と長野県に、こうち生協の職員をそれぞれ派遣し、現地の支援を行いました。また、支援募金を開設して組合員さんから多くの支援をいただきました。店舗では「りんごの買い支え」企画を実施。りんご利用 1 点につき 1 円を信州産直組合に寄付する活動を行いました。

生協を通じて支援の思いを届けることができよかった。(店舗組合員さんより)



■ 東日本大震災を忘れない (いわてふれあいサロン支援)

仮設住宅に入居されている方々の交流やふれあいの場「いわてふれあいサロン」(いわて生協が開催)に、高知県産のお菓子やメッセージを贈る支援活動を継続して行っています。サロンに集う皆さんからお手紙や写真が届くなど、あたたかな交流が続いています。この支援は岩手県岩泉町の台風被害の際にも活用され、地元の社協よりお礼状をいただきました。



□ 自助を養う活動

南海トラフ地震に備え自助を養う活動として、県内の各生協や行政諸団体の皆さんと防災・減災の学習の場をつくりました。



■ コープぼうさいフェアを開催

こうち生協をはじめ県内の各生協や大学などが参加して、見てさわって遊べる体験型の防災イベントを開催しました(主催は高知県生協連)。当日はファミリーを中心に約1,100名の来場がありました。



■ LPAで防災の学習会を開催

ライフプランアドバイザーの会では、防災の講演会を年間で10回開催し、674人の参加がありました。シュミレーションゲームを中心にローリングストックや果物の活用、防災食の試食や災害後のお金にまつわる話など行いました。



■ 被災時を想定した食事作り

たべる*たいせつキッズクラブでは、防災と食をテーマにポリ袋を使った親子調理教室を行いました。被災後、電気・ガスが使えない想定で、ポリ袋に材料を入れカセットコンロを使い鍋で煮て、温かい料理が4品できました。

興味はあったが経験したことが無く、挑戦できて良かった。(参加した組合員さんより)

■ 子育て世代へ防災力UPの提案

小さなお子さんを持つ保護者の皆さんに、被災時における家族での行動について考えるきっかけになればと、子育て応援講座の中で防災に関する講座を開催しました。参加者は同じ立場で悩みを共有し、交流も深まりました。この様子は地元のテレビ局より複数の取材があり、関心の高さを感じました。



□ 地域社会の課題解決を目指して

地域におけるさまざまな暮らしの困りごとへの支援活動に取り組んでいます。



■ 子ども食堂を支える取り組み

こうち生協の店舗(コープよしだ・コープかもべ)では、地域の子どもの食堂開催日に合わせ組合員活動室を会場として提供しています。また県が行っている「高知県子ども食堂支援基金」に組合員さんからの募金や、商品カタログ「こうち版リブレ」の商品利用1点につき1円を寄付する取り組みを行い、合わせて194,424円を寄付しました。



■ 出前授業で小学生と交流

「夏休み中に学びの場がほしい」という小学校の放課後児童クラブからの要望に応え、夏休み期間中に前出授業を開催しました。2019年度はこうち生協が取り組む「平和」「金銭教育」「食育」をテーマとして、合計13校で授業を行い、子どもたちと職員と一緒に学び合いました。



■ 地域の声に応えた活動

こうち生協LPA(ライフプランアドバイザー)の会は、組合員さんのニーズをもとにくらしに役立つセミナーを開催しています。生協内での開催以外にも、社協ほか地域の諸団体から声がかかるなど、活動の幅を広げています。



■ 配食事業「夕食宅配」を実施

こうち生協ではエネルギーと塩分を調整した日替わりの夕食をお届けしています。また配達のない土日用の冷凍おかずセットや、飲料・レトルト食品などのサイドメニューを提供しています。日々の定期的なお届けを通じ、高齢者の見守りにもつながっています。



□子育て支援

子育てしやすい地域社会をめざし子育て世代を応援しています。



■「子育てひろば」を毎週開催

コープよしだ店の組合員室で毎週月曜日に開催しています。お母さん同士の交流や情報交換、子育て経験のあるスタッフとの会話など、ゆっくり過ごせる場を提供しています。2019年度は32回開催し、のべ359人の親子が参加しました。



■ほっと一息「らんらんランチ」

子育て広場ではママのためのランチ会を企画しました。子どもたちはお弁当持参でママから見える所で元気に遊ぶ中、スタッフ手作りのランチや食後のお茶とケーキを楽しみました。

沢山の方とお話しができました。ゆっくり安心できる時間が持てとても良かったです。(参加した組合員さんより)



□暮らしを見直す活動

組合員さんが学習できる場をつくり、それらに関する情報提供を継続的に行っています。



■モニターでエシカルな商品を紹介

こうち生協が行う登録モニター240名に向け、商品の感想やアンケートを掲載する交流紙の中で、「co-op カカオ 70%チョコレート」について、エシカルな視点で聞いたアンケート結果とともに商品を紹介しました。

生産者や環境を守りながら消費できる、そんな取り組みに協力できたらいいと思います。(モニターさんの返信より)



■自分らしく生きるための講演会

くらしの助け合いの会(通称 コープたんぽぽ)の交流会で「自分が願う終末期」と題した講演会を、会員以外にも広く呼びかけ開催しました。いきいきと自分らしく生きていくために今から知り考えたいこと、始めたいことの話があり、参加者は誰の身にもいつか訪れる死について考える貴重な時間を過ごしました。



□ 宅配などの事業

こうち生協の宅配には、ご自宅の玄関先にお届けする個人宅配、ご近所のグループや職場にお届けする共同購入、またお店や各拠点で商品の受け取りなど組合員さんのニーズに応じたお届けをしています。



■ 地域の暮らしを支える

こうち生協が県下全域に配送を行う高知県は、総面積のうち84%が森林を占めています（全国第1位）。買い物にお困りの山間地域へも商品をお届けし、暮らしを支えています。配送トラックが入れない地域へは背負子（しょいこ）を使って商品をお届けすることもあります。



■ まごころも一緒にお届け

まごころくろしお便は、商品カタログで注文した商品を、組合員さんに代わって全国に発送する仕組みです。注文の際には、先様に「ひとことメッセージ」を記入することができ、県内外に離れてくらししている方へ送り手の思いも一緒にお届けしています。

毎日遅くまでご苦労様！帰ってから料理を作るのは大変でしょう。忙しい時は生協の冷凍物に頼って、少しでも体を休めてください。体調に十分気を付けて無理しない様に…。（ひとことメッセージより）

■ 地域とつながるステーションに

高知市内に自前物件第1号となるコープステーション（商品受け取り班）が2019年8月にオープンしました。商品の受け渡しのほかにも、地域の中でのよりどころやお役立ちとなることをめざした活用法を探っています。



□ 店舗事業

日々の暮らしに役立つ商品を提供し地域に喜ばれる買い場づくりを進めるとともに、地域や組合員活動の場を大切にしたい、ぬくもりのあるお店づくりをめざしています。



■ 認知症対応ステップアップ養成研修を開催

店舗職員による「認知症について学びたい」という声から、2018年に認知症の基礎知識を学びました。2019年度はより実践的な研修をと、店舗で実際にあった事例を基に適切と考えられる対応を考え学びました。来店される方に「私の生協」と感じていただけるお店をめざし学習を続けています。



■ お買い物バスの運行スタート

来店が困難になった方に買い慣れたお店で買い物を続けてもらいたいという思いから、2019年9月、お買い物送迎サービス（通称お買い物バス）の運行がスタートしました。

買い物に行く手段が無くなり、タイミングよくバスを利用することができて本当に助かっています。

（登録組合員さんより）



■ 地域とともに

店舗の組合員活動室は、子育て広場・高齢者のつどい・子ども食堂・サークル活動など、地域の方が気軽に集まる場となっています。また、近隣小学校の社会見学や中学校の職業体験の受け入れ、保育園でお魚教室を開催しました。有難いことに勤労感謝の日、思いがけず近くの幼稚園の園児さんが来店され、歌とダンスをプレゼントしてくれました。



□ 共済事業

ケガや病気などくらしの「もしもの時」に備える
C・O・P共済は、組合員さんの安心の支えとなることを
めざしています。

加入件数 65,447件
給付件数 9,558件
共済保険給付者ありがとうの声 1,011件



■ 今知りたいことを伝える活動

LPA（ライフプランアドバイザー）の会では、大人から子どもを対象としてさまざまなセミナーや学習会を開催しました。毎年新しいテーマを増やすなどメンバー内で改善を重ね、生協内だけでなく自治体や小学校など地域からも講師の依頼がありました。2019年度のセミナー受講者数は4年連続で全国の生協中1位となりました。

組合員LPA 8人
学習会開催 49回
参加人数 1,464人



■ 県内の園児にお祝いのプレゼント

2010年から始まった「ご入園・ご卒園プレゼント」は、各園からご好評をいただき10年目を迎えました。スタート時の70園・3,040人への寄贈から、2019年は157園・15,636人にプレゼントを贈ることができました。卒園児のみなさんにお届けしたコーすけのランドセルカバーは、新1年生となった登下校の際、地域における見守りの目印や事故の防止などに役立てられています。



■ 2019 年度

JCSI※第5回調査生命保険部門にて 顧客満足度 1 位を獲得

組合員に寄り添い、丁寧なお知らせや対応に心掛け、加入者にとってどうかを追求し、助け合いの心を実感・共感できる場づくりを進めました。今回の調査では3年ぶり通算5度目となる第1位を獲得しました。

※サービス産業の競争力強化を目的とした国家的プロジェクトの中で、生産性をはかる一指針として、経済産業省、学識研究者、各企業の協力支援の下、2007年から3年間の期間をかけて開発された顧客満足度調査です。



□ サービス事業

快適なくらしづくりのお手伝いとなるよう、お困りごとへの相談やさまざまな安心できる提携を広げることで、よりよいくらしへの貢献をめざしています。



■ 環境に優しく災害に強い住まいを提案

県内の住宅業者や環境団体と一緒に開催した「エコな住まいフェア」は、2019年度で10回目を迎えました。各展示コーナーでは組合員さんが直接相談できる場を作り、よりよい住まいの提案を続けています。また会場ではお子さんが楽しめる遊び場やくらしの省エネワークショップが開かれました。



■ コープ葬祭で

いきいき終活セミナーを開催

安心できるシニアライフと穏やかなエンディングを考えるお手伝いとして、コープ葬祭では施設見学会や終活セミナーを行っています。

両親に…と思ったけど、参加してみて自分もすごく参考になった。「今」を振り返るよい機会になりそう。
(参加した組合員さんより)



持続可能な社会づくりをめざします

こうち生協は、「つくる責任」と「つかう責任」の循環をよりよくし、持続可能な社会づくりをめざします。限りある地球資源に思いを寄せ、商品の供給を進めます。また、エシカル消費や持続可能な社会への理解を促進する広報や学習会に取り組んでいます。

関連するSDGsの目標



10 人や国の不平等をなくそう



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



産直・商品を通じた生産者とのつながり

こうち生協の産直は生産者と消費者がつながることによって安全・安心な商品を組合員さんに届けること、持続可能な農業と地域に貢献することをめざしています。



12 つくる責任
つかう責任



■ 地元の生産者さんとの交流

組合員活動のなかで1年を通じ産地や工場の見学が行われています。この日は高知市にあるきのこ生産地を組合員さんが訪れ、商品が栽培されている様子を見学したり、栽培のこだわりや苦労などのお話を聞き、商品をより深く知る機会となりました。



■ 生産者さんの思いを掲載

【店舗では】
商品POPに地元の生産者さんの顔写真や組合員さんに向けたメッセージを書いたものを商品に付けてお知らせしました。

【情報機関紙では】
特集ページで地元高知県の生産者さん取材し、商品に対する思いや農産物が栽培される過程を掲載して広くお知らせしました。

□ コープ商品事業



全国の組合員の声を活かして日本生協連が
開発し全国の生協に供給を行うコープ商品は、よりよい社会に向けて「地域」「環境」「社会」「人々」に
配慮した消費行動＝エシカル消費に対応した商品づくりに取り組んでいます。

■ 高知県で製造されるコープ商品

高知市の菊谷(株)で製造されている「CO・OPキャラメルポップコーン」は、映画館や大手テーマパークなどで販売されるものと同じフレーバーのポップコーンが手軽に味わえ、全国の生協でも人気の商品です。またこの商品は生協の健康づくり「ヘルシーコープ」の取り組みに賛同いただき、生協仕様（食物繊維プラス）で製造されています。お店ではこの商品ストーリーを試食品とともに紹介しました。



■ エシカル消費に対応した商品の取り扱い

お買い物の際、自分の視点プラス環境や社会など他者への視点を持つことで、誰かの笑顔につながるエシカル消費に対応したコープ商品の取り扱いを拡大しています。商品が作られる背景を知り、自分で商品を選択し消費することで、くらしや社会がよりよくなることにつながるエシカル（倫理的な）消費の普及・啓発を進めています。

社会貢献寄付金付商品
(1品購入につき0.5円を環境保護団体に寄付)



▲「CO・OPセター」(本体・詰替え用パック)

持続可能な漁業で
獲られた水産物



▲「CO・OP無着色たらこ」

熱帯の森と人を守る



▲「CO・OPカカオ
70%チョコレート」

■ コープ商品で子育て世代を応援

「きらきらステップ」乳幼児食シリーズを2017年から発売しています。冷凍素材を中心として離乳食・幼児食を手軽に手作りできる、また下ごしらえなしに必要な量をすぐ使うことのできる商品で、子育て世代の声を形にして応援しています。



▲「CO・OP国産野菜で作ったなめらかキューブ」



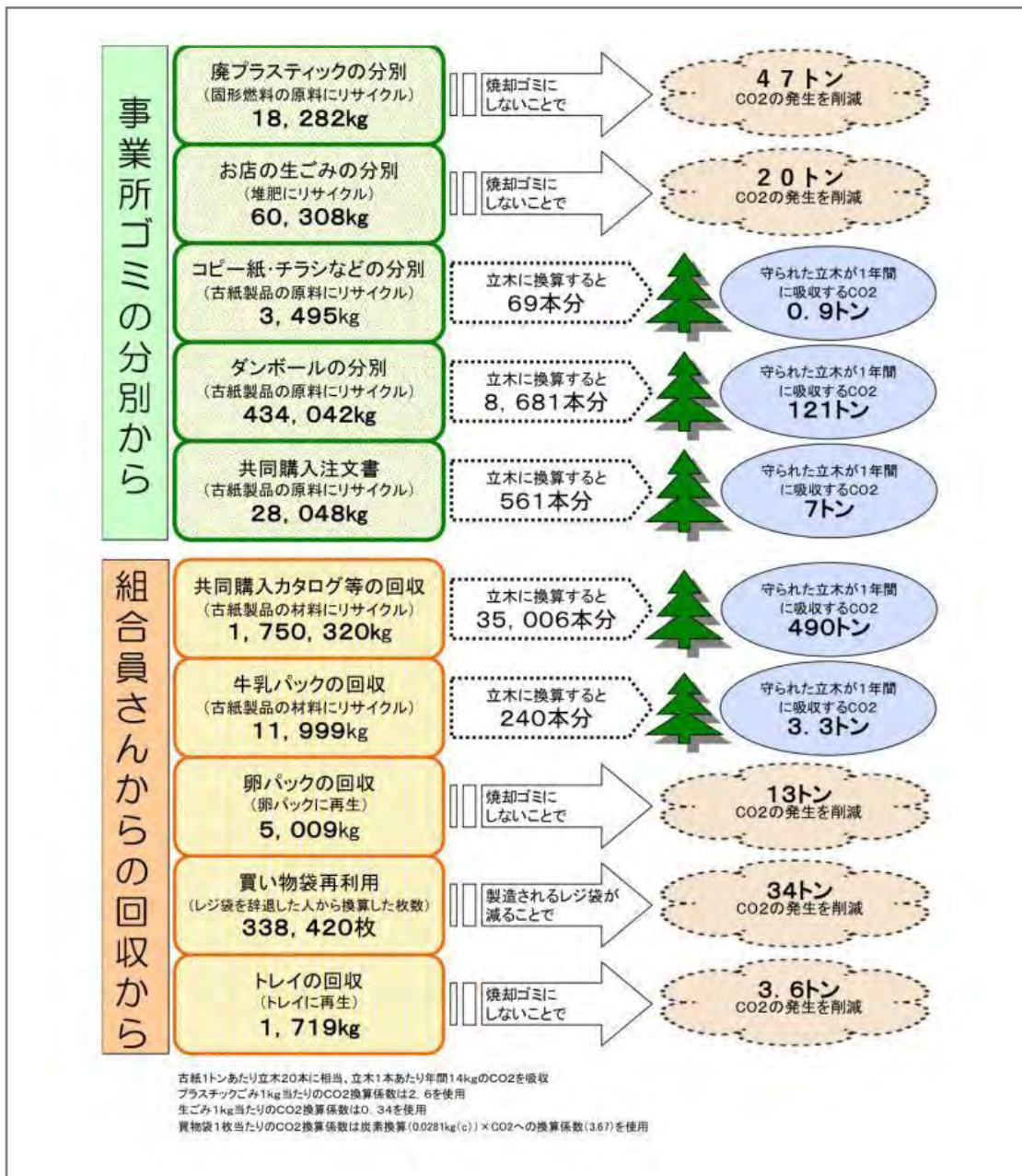
□ 廃棄物削減への取り組み

持続可能な社会づくりへの役割を果たし環境負荷軽減の一環として事業活動からの廃棄物の削減やリサイクル活動を行っています。



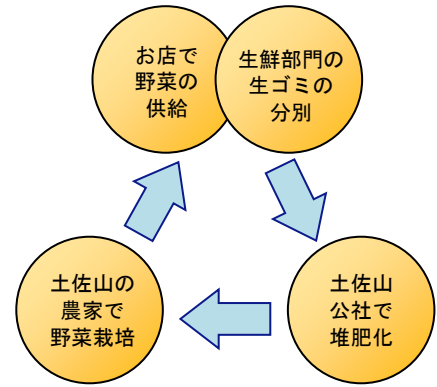
■ 自主回収・リサイクルの推進

宅配事業では商品を入れる内袋や商品カタログ・注文書などを、店舗事業では各リサイクルに加え、マイバックの利用を呼びかけレジ袋の使用削減を推進しました。またそれぞれの回収量や、それによる二酸化炭素の量を換算して公開しています。



■ 食品廃棄物の削減

店舗では生鮮の加工くずなどを収集し、堆肥化するリサイクル活動に参加しています。店内で出る野菜くずや魚のあら、また賞味期限が過ぎ廃棄となる食品などは、(財)夢産地土佐山開発公社が製造する堆肥の原料の一部として使用されています。できあがった堆肥はこの地区の農業に使われ、栽培された産直野菜や堆肥をこうち生協の店舗で販売しています。こうした「循環型農業」を応援しています。



■ プラスチック問題・食品ロス削減の呼びかけ

こうち生協の取り組みを組合員向け機関紙の特集記事で掲載しました。紙面では、自分から気軽にできることの提案や組合員さんの声を発信しました。



□ 品質保証

こうち生協の品質管理室では、カタログで企画される商品や店舗の取り扱い商品・夕食宅配商品などの日常的な抜き取り検査を行っています。また鮮度・品質・微生物・衛生状態・製造現場などそれぞれの点検や排除した添加物の検査、抜き取りによる表示や製造日付のチェックを行っています。2019年度は商品品質に関するお申し出が 417 件ありました。



健康づくりの取り組みを広げ 助け合い活動を進めます

関連する
SDGs の
目標



あらゆる年齢の人々が地域でいきいきと住み続けられるための健康づくりを食や運動、助け合い活動などの組合員活動を通じて進めています。

□ 福祉・助け合い

こうち生協は組合員さん同士が助け合いの心を大事に活動できる場をつくとともに、その輪が広がることをめざした活動を行っています。

■ 暮らしの助け合いの会 コープたんぽぽ

「困った時はお互いさま」の気持ちを大切に作る組合員同士の援助活動です。誰もが住み慣れた地域で安心してらせるよう、家事援助や病院等の付き添い・話し相手・産後の援助など幅広い活動を行いました。



お手伝いに伺った先の利用会員さんは人生の先輩なので、自分が知らないことを色々と教えていただき、勉強になることばかりです。お手伝いするだけでなく、自分自身も得るものがたくさんあります。そこが「お互い様の助け合い」だと思っています。(活動会員さんより)

■ 毎週の商品カタログを声でお届け

目の不自由な方へ、こうち生協の商品カタログの掲載内容を読み上げた音声 CD を、登録組合員さん 20 人に毎週お届けしました。CD の製作には 6 人の組合員録音メンバーが毎週収録を行っています。

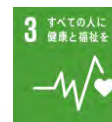


□ 健康づくり

地域の中で諸団体と連携した取り組みを行っています。

■ 高齢者のための「つどい」活動

こうち生協の店舗（コープよしだ・コープかもべ）でそれぞれ春夏秋冬の年 3 回ずつ実施しているお食事会では、医療生協の協力による健康チェックや体を楽しく動かすレクリエーションなどが開催されています。



□食育の取り組み

子どもたちに食に関する取り組みを行う「たべるたいせつキッズクラブ」など地域との交流や体験を通じ食への興味や思いが育っていく事を願い活動しています。

3 すべての人に
健康と福祉を



■食育の出前授業を開催

小学校の放課後児童クラブで行った食育授業では、地元でとれた野菜を使ったゲームで地産地消や残さず食べる大切さを伝えました。子どもたちからも「給食残さず食べるよ!」「お店で値引きシールのものを買ったよ!(フードレスキュー)」など食にまつわる元気な声を聞くことができました。



■お米のひみつをさぐる見学ツアー

日頃食べるお米について知り、おいしく食べる体験イベントを行いました。会場となった高知市の精米工場が長年取り組んでいる清流保全活動の紹介をするとともに、大きな工場を見学したあと、子どもたちが自ら計量・炊飯した新米を炊き、親子でおにぎりにしていただきました。



娘も工場で見学や体験をさせてもらってとても楽しそうでした。自分でにぎったおにぎりがすごくおいしかったようで、大きなおにぎりを2つもペロッと食べていました。
(参加した組合員さんより)

■お店から保育園へ ~お魚教室を開催~

「お寿司を食べたことがあっても、どうやって作るのかわからない」という園児の声を聞き、にぎり寿司が作られる過程を見てもらおうと開催しました。包丁で魚をさばく作業では、園児から「かわいそう…」という声も。「こうして命あるものをいただくのだから、残さないよう食べようね。」と話す場面も見られました。

当日は子どもたちが興味を持ってくれて、魚(ブリ)を見ると大歓声! 質問が止まりませんでした。今回の訪問はとても貴重な体験となりました。(店舗水産職員より)



平和な社会を めざす活動を進めます

関連する
SDGs の
目標



私たちは、平和の実現をめざす取り組みを進めます。次の世代に戦争体験を継承するなど、平和な社会の実現に積極的に貢献します。

□ 平和活動

こうち生協の理念「健康と子どもたちの未来のために」の中には家族が健康で平和な生活をおくることができるようにという願いが込められています。創立以来、平和について考え学習するさまざまな取り組みを継続しています。

■ ピースカンパの呼びかけ

平和の活動を支えるピースカンパは、2019 年度 458,100 円の募金が集まりました。これをもとにさまざまな取り組みが進められています。



◀「ピースアクション in こうち」(写真右)
広島で被爆したピアノでコンサートを開催しました。

◀「平和出前授業」(写真左)
高知で起こった空襲体験を紙芝居で学習しました。

■ 平和への思いを折り鶴に

高知県内の各団体による平和のための企画「ピースウェイブ」にこうち生協も参加しています。7 月に開催される平和七夕まつりには、高知空襲の被害が一番ひどかったといわれる高知市京町・新京橋のアーケードなどに高知空襲で亡くなった方たちへの鎮魂と平和への願いを込めて折り鶴の吹き流しを飾ります。今年も多くの組合員さんから折り鶴が集まりました。



■ ユニセフ支援活動

開発途上国の子どもたちを支援するユニセフ募金活動に取り組んでいます。2019 年度に組合員さんに呼びかけ集まった募金は、一般募金・指定募金・緊急募金をあわせて 1,139,170 円となりました。

地球温暖化対策を推進します

関連するSDGsの目標



持続可能な社会をめざし温室効果ガス削減目標(2030年環境目標)の実現に向け取り組みます。

□ 環境活動

組合員さんや地域社会とともに持続可能な社会をめざし温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの普及に取り組んでいます。

■ 地球温暖化防止会議への参加

高知県が行う「高知県地球温暖化防止県民会議」に登録し、さまざまな取り組みに参加しています。

「マイバッグキャンペーン」の期間中は県内の量販店と協力して啓発を強化しています。こうち生協ではレジ袋の削減枚数をお店に掲示して買い物袋の持参を呼びかけました。



高知県地球温暖化防止県民会議総会での感謝状贈呈式

■ 小学生の電車・バスに乗る体験を応援

県民会議が温暖化防止活動の一環として取り組む「交通エコポイント活用社会還元事業(ですかでゴー)」に賛同し、寄付協力をしています。この事業は県内の小学校を対象に、公共交通を無償で利用してもらう取り組みで、マイカーの利用に比べて温暖化ガス排出の少ない路面電車やバスに乗り校外学習に出かける体験の支援となっています。



■ 再生可能エネルギーの取り組み

2003年5月より市民共同の太陽光発電設備が店舗(コープよしだ店)の屋根で稼働しています。これは県内外の市民有志が共同出資し、こうち生協が屋根を提供しているものです。発電は生協が買い取り店舗で使用しています。また2014年に商品センター、2015年に中央支所・須崎支所の屋根にそれぞれ太陽光発電設備を設置しています。2019年度の発電容量は536,743kWhでした。



多様な人々が 共生できる 社会づくりを推進します

関連する
SDGsの
目標



地域活動を通じ、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現をめざします。

□ 多様な人材が働く元気な組織に

組合員さんのお役にたち、職員が元気に働き続けられるような組織風土づくりを進めています。お互いの仕事から学び合える研修や学習を実施しています。また、やりがいを持って働き続けられる環境づくりのひとつとして専任職員や正規職員への登用制度を実施しています。



■ 安全防衛運転の取り組み

安全防衛運転推進スタッフを配置し、こうち生協で働く全ての職員が安全な運転を使命と受けとめ、第一優先課題として実践できるよう取り組んでいます。新人研修や、新たにスタートしたリーダー研修、入協2~4年時研修など安全防衛運転の取り組みを進めています。



■ 障害のある方の働く場づくり

こうち生協の特例子会社(株)ハートフルコープこうちでは、障がいのある方の雇用を積極的に進めています。2018年からエコ・センターが稼働し、組合員さんから回収したカタログやチラシ、牛乳パックや注文書などを製品化する事業を行っています。2019年度のリサイクル資源の出荷量は前年を超える実績でした。



「ありがとう」を伝えたい (2019年度入協職員の声)

私はこれから「ありがとう」の気持ちを言葉と行動で伝える事を大切にしたいです。私がここで仕事ができるのは職員の仲間や、多くの組合員さんの支えがあるからです。今できる事を一つひとつ積み重ね、少しずつ私自身も組合員さんや職員を支えられるようにがんばります。その第一歩として「ありがとう」という気持ちを声に出したり、文字にしたり、積極的に伝えるようにしていきたいと思います。

組織の概況について

■名称:こうち生活協同組合 ■代表理事 理事長:佐竹 一夫

■創立:1985年11月18日

■事業所一覧

| 事業所名 | | 所在地 | のべ床面積 |
|--------------|--------|-------------------|----------------------|
| 本部事務所 | | 高知市薊野中町 16-8 | 601 m ² |
| 共同購入 配送支所 | 中央支所 | 高知市南河ノ瀬町 156 | 2,015 m ² |
| | 東支所 | 高知市大津乙 916-1 | 952 m ² |
| | 安芸支所 | 安芸市津久茂町 11-8 | 687 m ² |
| | 須崎支所 | 須崎市桐間東 46 | 779 m ² |
| | 四万十支所 | 四万十市具同 6242 | 952 m ² |
| | 南国支所 | 南国市篠原 1784-1 | 872 m ² |
| 店舗 | コープよしだ | 高知市吉田町 6-6 | 1,778 m ² |
| | コープかもべ | 高知市鴨部 2 丁目 4-43 | 2,213 m ² |
| 商品センター | | 南国市三和琴平 1-1743-12 | 4,417 m ² |

■主な事業内容

消費生活協同組合法に基づいた生活協同組合で、協同互助の精神に基づき、組合員の生活の文化的経済的改善向上をはかることを目的としています。

| 事業種目 | 主な事業品目 |
|--------|---|
| 供給事業 | 農産、水産、畜産、日配品、加工食品、菓子、パン、卵、冷凍食品、日用雑貨、衣料品、配食サービス、その他 |
| 受託共済事業 | CO・OP 共済《たすけあい》《あいびらす》、終身共済、火災共済 |
| サービス事業 | 各種チケット、住宅新築・改築、布団クリーニング、エアコンクリーニング、ギフト、書籍、葬祭事業、引越、その他 |
| その他 | 提携サービス等 |

■事業概況

| | |
|----------|--------------|
| 組合員数 | 100,940人 |
| （内訳）共同購入 | （71,404人） |
| 店 舗 | （29,536人） |
| 事業高（供給高） | 108億4,415万円 |
| （内訳）共同購入 | （87億5,566万円） |
| 店 舗 | （19億5,781万円） |
| サービス | （1億3,067万円） |
| 出資金 | 40億3,008万円 |

※1万円未満は切り捨て

※2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)集計



CSRレポート

2020

こうち生活協同組合

〒781-0013 高知県高知市薊野中町 16-8

TEL : 088-826-5211 FAX : 088-826-5252



<http://www.kochicoop.or.jp/>

こうち生協

